

2024 年合格目標

TAC 行政書士講座・無料公開セミナー

行政書士試験攻略の 正しい学習法

《セミナーの内容》

1. 行政書士になるには？

（行政書士試験概要）

2. 行政書士試験に合格するには？

（正しい学習法）

1. 行政書士になるには？

(1) 試験要項

受験資格：誰でも受験できます。

試験日：例年 11 月第二日曜日（2024 年は 11 月 10 日予定）

試験時間：午後 1 時～4 時（3 時間）

(2) 試験科目・出題数

① 行政書士に必要な法令等（法令科目）

60 問中 46 問 － 5 肢択一式（40 問）、多肢選択式（3 問）及び記述式（3 問）

② 行政書士の業務に関連する一般知識等

60 問中 14 問 － 5 肢択一式（14 問）

(3) 出題形式

① 5 肢択一式（60 問中 54 問 － 1 問 4 点）

ex. 次のうち正しいものはどれか。

- 1 ～
- 2 ～
- 3 ～
- 4 ～
- 5 ～

② 多肢選択式（60 問中 3 問 － 1 問 8 点・部分点あり）

ex. ア～エに当てはまる語句を、枠内の選択肢（1～20）から選びなさい。

～～ ア ～～～～～ イ ～～～ ウ ～～ エ ～～～～～。

1	2	～	20
---	---	---	----

③ 記述式（60 問中 3 問 － 1 問 20 点・部分点あり）

ex. ～について、40 字程度で記述しなさい。

(4) 合格基準 ⇒ 300 満点中 180 点（6 割）で合格！！

2. 行政書士試験に合格するには？ （効果的な学習方法）

(1) 得点戦略

① 行政書士に必要な法令等（出題数 46 題－244 点/300 点）

}	基礎法学一	（ 2 問 8 点）	配点小・分量多・難易度易
	憲法	－（ 6 問 28 点）	配点中・分量少・難易度易
	行政法	－（ 22 問 112 点）	配点大・分量多・難易度中
	民法	－（ 11 問 76 点）	配点大・分量多・難易度高
	商法	－（ 5 問 20 点）	配点小・分量多・難易度高

② 一般知識等（出題数 14 題－56 点/300 点）

⇒ 40%（24 点）以上の得点必要。

}	政経・社会一	（ 7～8 問 32 点）	配点小・分量多・難易度高
	情報通信・個人情報保護	－（ 3～4 問 12 点）	配点小・分量少・難易度中
	文章理解	－（ 3 問 12 点）	配点小・分量多・難易度低

(2) 学習の中心に据えるべき科目の選択

- | | |
|---|---|
| } | ① 配点が高い科目を得点源にする必要があります。
→ 行政法、民法 |
| | ② 学習分量が少なければ、短時間の学習で得点に直結します。
→ 憲法、情報通信・個人情報保護 |
| | ③ 難易度が易しければ、短時間の学習で得点に直結します。
→ 憲法 |

これらの科目を、学習の中心に据えることが、効率的に短期合格するための秘訣です。

(3) 戦略的タイムマネジメント

① **まずは残り時間を算出してください。**

- ・ 1週間で勉強に割くことができる時間は、週_____時間。
- ・ 残り_____週 × 週_____時間 = 本試験までに残された時間

② **多く出題される部分に多くの時間を割くのが効率的**です。

【法令科目】（81.3% 244/300） 残り時間×約 0.82＝法令の残り時間

- ① 基礎法（ 2.6% 8点）残り時間× 2.6%＝基礎法学の残り時間
- ② 憲法（ 9.3% 28点）残り時間× 9.3%＝ 憲法の残り時間
- ③ 行政法（37.3% 112点）残り時間×37.3%＝ 行政法の残り時間
- ④ 民法（25.3% 76点）残り時間×25.3%＝ 民法の残り時間
- ⑤ 商法（ 6.6% 20点）残り時間× 6.6%＝ 商法の残り時間

【一般知識等】（18.6% 56点） 残り時間×約 0.18＝一般知識の残り時間

- ① 政経社（ 9.3% 28点）残り時間× 9.3%＝ 政経社の残り時間
- ② 情報等（ 5.3% 16点）残り時間× 5.3%＝ 情報等の残り時間
- ③ 文章（ 4.0% 12点）残り時間× 4.0%＝文章理解の残り時間

(4) 行書試験に必要な学習部分の取捨選択とTAC利用のメリット

① 学習範囲の選択

効率的に短期合格するためには、行政書士試験合格に必要な知識を取捨選択し、そこを集中的に学習することが必要です。



しかし！

限られた時間の中で、この取捨選択を行うことは容易ではありません。行政書士試験に必要な基本的知識かどうかを判断するために、細かい法律知識を学習しなければならないとすれば、それは本末転倒です。

また、細かな知識を、すべて押さえようとすることは、合格に必要なとされる基本的知識を曖昧にしてしまいます。

② TAC利用の最大のメリット

短期合格のためには、頻出分野を的確に捉えて、その部分をしっかり理解していく学習をする必要があります。



**これを実現するのが
TACです！！！！**